

高圧ガス製造設備保安検査点検表（一般則第6条関係・定置式）

1. 事業所概要

事業所名称					
事業所所在地		〒			
許可年月日・番号		年 月 日		第 号	
ガス名・処理能力		ガス名 Nm ³ / 日			
製造設備	貯 槽		処 理 設 備		
	容量・焼とん		名 称		
	型 式		処 理 能 力		
	開 放 検 査	年 月 日	開 放 検 査	年 月 日	
保安検査		年 月 日 氏名		印 氏名 印	
協会指導		年 月 日 氏名		印 氏名 印	
立 会 者	保安検査	氏名	印	協会指導	氏名 印

2. 記録簿

危害予防規程	S・H・R 年 月 日		認可・届出 有 ・ 無	
保安教育計画	保安教育計画書	S・H・R 年 月 日		有 ・ 無
	今年度の策定状況	有 ・ 無 適 ・ 否		
定期自主検査	自 年 月 日 実施者 至 年 月 日			
申請書類等の整備	適 ・ 否		日 常 点 検	適 ・ 否
基準類の整備状況	適 ・ 否		受 払 記 録	適 ・ 否
設備台帳補修記録	適 ・ 否		充 填 記 録	適 ・ 否
保安教育実施記録	有 ・ 無		周知書面交付記録	有 ・ 無
防災訓練実施記録	有 ・ 無		実 施 日	年 月 日

3. 保安管理組織

保安統括者	職 名： 氏名：	同 代 理 者	職 名： 氏名：
保安技術 管 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安係員	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安係員	氏名： 免状： 講習：H・R 年	同 代 理 者	氏名： 免状： 講習：H・R 年
保安監督者	氏名： 資格：		

* 「結果」欄以外は検査前に必ず記入しておくこと。

4 - 1 . 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第 6 条第 1 項)
(1)製造設備等

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
1 . 境 界 線 警 戒 標	目 視	製造事業所 境界線の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無 ローリー停車位置 停車位置の明示 : 有 ・ 無 警戒標の設置 : 有 ・ 無	適 不適	第 1 項第 1 号 例示基準 1
2 . 設備距離	計 測 目 視	第 1 種設備距離 : 法定 m、実測 m 第 2 種設備距離 : 法定 m、実測 m	適 不適	第 1 項第 2 号
3 . 火気取扱 場 所 (可燃性ガス)	計 測 目 視	火気取扱い施設までの距離 法定 8 m 実測 m 流動防止措置 : 有 ・ 無	適 不適	第 1 項第 3 号 例示基準 2
4 . 設備間距離 (可燃性ガス)	目 視 計 測	可燃性ガス相互間 法定 5m 実測 m 可燃性ガスと酸素間 法定10m 実測 m	適 不適	第 1 項第 4 号
5 . 貯 槽 間 距 離 (3t以上の可燃性ガス)	目 視 試 験	1 m又は最大直径の和の 1 / 4 以上 法定 : m 実測 m 水噴霧装置 : 毎分 7 or 8 L/m ² L/m ²	適 不適	第 1 項第 5 号 例示基準 3
6 . 貯 槽 の 塗 装	目 視	可燃性ガス貯槽～ガス名の朱書 : 有 ・ 無	適 不適	第 1 項第 6 号 例示基準 4
7 . 防 液 堤	目 視	対象～可燃性ガス、毒性ガス、酸素の貯槽 法定容量 m ³ 実際容量 m ³	適 不適	第 1 項第 7 号 例示基準 5
8 . 防液堤内 及 び 周 辺 の 設備設置制限	目 視	対象～可燃性ガス、毒性ガス、酸素の貯槽 防液堤内側(10m)の不適合設備 : 有 ・ 無 防液堤外側(10m)の不適合設備 : 有 ・ 無	適 不適	第 1 項第 8 号 細目告示第 2 条
9 . 滞留防止 措 置	目 視 記 録	2 方向以上の開口部又は換気装置(可燃性ガスに限る。) 有 ・ 無	適 不適	第 1 項第 9 号 例示基準 6
10 . 気密構造 11 . 気密試験	目 視 試 験 記 録	・可燃性ガス、毒性ガス、酸素のガス設備は気密な構造であること ・製造設備は常用以上の圧力で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 使用ガス名 : ・低温貯槽の場合の試験圧力 受入部 MPa、貯槽部 MPa	適 不適	第 1 項第10号 第 1 項第12号 例示基準 7
12 . 耐压試験	目 視 試 験 記 録	製造設備は常用圧力の1.5倍以上の圧で漏えいしない。 試験圧力 : MPa 非破壊検査(肉厚計測除く)の実施記録 年 月	適 不適	第 1 項第11号 例示基準 7
13 . 肉厚計測	計 測 記 録	記録の保存 : 有 ・ 無 計測年月日 : 年 月 日	適 不適	第 1 項第13号 例示基準 8
14 . 材料規制	記 録	例示基準第 9 号で定める材料を使用していないこと。	適 不適	第 1 項第14号 例示基準 9
15 . 基礎の 緊 結	目 視 記 録	貯槽(1 t 以上)の支柱は同一の基礎に緊結すること。	適 不適	第 1 項第15号 例示基準10
16 . 不同沈下	目 視 記 録	毎年 1 回以上測定し、その記録を保管する。 計測年月日 : 年 月 日 上記以外の場合(設置 5 年以上、基準適合のみ) 目視検査実施日 : 年 月 日	適 不適	第 1 項第16号 細目告示第10条 例示基準11

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
17. 耐震構造	目 視 記 録	地震の影響に対し安全な構造とすること。	適 不 適	第 1 項第17号 耐震告示
18. 温度計等	目 視 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 範囲内にもどすための措置： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第18号 告示 6、例示12
19. 圧 力 計	目 視 試 験 記 録	比較テストを行い、記録を保管すること。 最高最低圧力の表示： 有 ・ 無 有効年月日の表示： 有 ・ 無 試験年月日： 年 月 日	適 不 適	第 1 項第19号 細目告示第 7 条 例示基準13
20. 安全装置	目 視 試 験 記 録	安全弁等の作動テストを行い、記録を保管 吹始圧：設定圧力の90%以上100%以下 吹止圧：設定圧力の80%以上 作動テスト年月日： 年 月 日	適 不 適	第 1 項第19号 細目告示第 7 条 の 2 例示基準13
21. 放出管 (不活性ガス以外)	目 視 測 定	可燃性ガス：地盤面 5 m又は貯槽頂部 2 m以上 毒性ガス：毒性ガスの除害設備内 その他の高圧ガス設備：建築物、工作物以上 開口部レインキャップ： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第20号 例示基準14
22. 低温貯槽 負圧防止措置	目 視 記 録	対象～可燃性ガス低温貯槽 設置状況の確認及び機能の作動状況	適 不 適	第 1 項第21号 例示基準15
23. 貯 槽 の 液 面 計 (液化ガス)	目 視	液面計の型式： 90%の表示： 有 ・ 無 自動式及び手動式止め弁： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第22条 例示基準16
24. 特殊高圧 ガス等の置換	目 視 試 験	不活性ガスによる置換又は内部を真空にできる構 造及び不活性ガス供給配管は別系統であること。	適 不 適	第 1 項第23条
25. 貯槽直近 のバルブ	目 視	対象～可燃性ガス、毒性ガス、酸素の貯槽 緊急遮断弁の外 2 以上のバルブ： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第24条 例示基準18
26. 緊急遮断 装 置 (5,000ℓ以上の 可燃性ガス、毒 性ガス及び酸素 の液化ガス)	目 視 試 験	操作機構：空気式 ・ 油圧式 ・ ワイヤー式 操作位置：事務所・従業員控室等及び () 貯槽より：5 m m 作 動：速やかに作動すること。 年次点検：有 ・ 無 受入配管：逆止弁 ・ 緊急遮断弁	適 不 適	第 1 項第25号 例示基準19
27. 電気設備 (可燃性ガス)	目 視 記 録	防爆性能が適切であるか (アンモニア及びブロムメチルを除く)	適 不 適	第 1 項第26号
28. 保安電力	目 視 試 験 記 録	保安電力の種類： 定期検査の記録： 有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第27号 細目告示第 9 条 例示基準20
29. 散水装置 (アセチレンガス)	目 視 試 験	水源の保有量：必要量 m ³ 実測 m ³ 散水量：適 ・ 不適 年次点検：有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第28号 例示基準21
30. 障 壁	目 視 記 録	圧縮機とアセチレン及び10MPa以上の高圧ガスの 充填場所又は充てん容器置き場 障壁の構造：	適 不 適	第 1 項第29号 第 1 項第30号 例示基準22
31. ガス漏洩 検知警報 装 置	目 視 試 験 記 録	対象～可燃性ガス、毒性ガス テスト記録：有(年 月 日) ・ 無 保安電力：有 ・ 無	適 不 適	第 1 項第31号 例示基準23

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
32. 温度上昇防止装置	目 視 試 験 記 録	対象～可燃性ガス貯槽、毒性ガス貯槽 又は可燃性物質周辺の貯槽 水源の確保：必要量 m^3 実測 m^3 散水量：適・不適	適 不適	第1項第32号 例示基準24
33. 毒性ガス	目 視 試 験	識別標(ガス名称含む)及び危険標識(「注意」朱書き) 配管等の(溶接、フレンジ、ねじ)接合状況 二重管の措置状況	適 不適	第1項第33～ 36号(34号削除) 例示基準25-27
34. 特殊高圧ガス等の 除害措置	目 視 検 査	拡散防止措置、除害設備の設置状況 除害剤及び保護具の保管状況 保護具の点検・着用教育及び訓練の記録：有・無	適 不適	第1項第37号 例示基準28、29
35. 静電気 除去装置 (可燃性ガス)	目 視 試 験	接地抵抗値：貯 槽 ローリー 総 合 100 ボンディング：有・無 損傷の有無、接続の状況：適・否	適 不適	第1項第38号 例示基準30
36. 防 消 火 設 備 (可燃性ガス・酸素)	目 視 記 録	消火器の設置個数：B - × 個 定 期 点 検：有・無 消 火 栓 の 設 置 数：有(個)・無	適 不適	第1項第39号 例示基準31
37. 通報設備	目 視	通報設備の種類： 作 動 状 況：適・否	適 不適	第1項第40号 例示基準32
38. バルブ 誤 操 作 防止措置	目 視	バルブの開閉方向の明示：有・無 配管内の流体名・方向の明示：有・無 安全弁元バルブの封印等：有・無 適切な足場、照度の確保：有・無	適 不適	第1項第41号 例示基準33

(2) 容器置場 (面積： m^2)

39. 警 戒 標	目 視	警戒標の設置：有・無 維持管理状況：適・否	適 不適	第1項第42号のイ 例示基準1
40. 置場距離	目 視 計 測	第1種置場距離：法定 m 、実測 m 第2種置場距離：法定 m 、実測 m	適 不適	第1項第42号 のハ
41. 障 壁	目 視	有・無 (高さ cm × 厚さ cm)	適 不適	第1項第42号の二 例示基準22
42. 屋 根	目 視	可燃性ガス及び酸素ガスの充てん容器置場の屋根 は不燃性又は難燃性で軽量(低温容器を除く。)	適 不適	第1項第42号の水 例示基準34
43. 滞留しない 構造	目 視 記 録	対象～可燃性ガス 滞留しない構造であること	適 不適	第1項第42号のヘ 例示基準6
44. 容器置場 材 料	目 視 記 録	対象～ジシラン、ホスフィン、モノシラン 不燃性又は難燃性の材料を使用	適 不適	第1項第42号のト 例示基準36
45. 除害措置	目 視 記 録	特殊高圧ガス等の容器置場の除害措置	適 不適	第1項第42号のチ 例示基準28、29
46. 消火設備	目 視 記 録	対象～可燃性ガス、酸素 消火器の設置個数：B - × 個 定 期 点 検：有・無	適 不適	第1項第42号の又 例示基準31

ガス名

検査項目	方 法	内 容	結 果	備 考
47.容器置場の維持管理状況	目 視	容 器 置 場 面 積 : m ² 充填容器と残ガス容器の区分 : 有 ・ 無 温 度 計 : 有 ・ 無 作 業 心 得 : 有 ・ 無 整 理 整 頓 : 有 ・ 無 転 落 ・ 転 倒 防 止 措 置 : 有 ・ 無 引火性・発火性・火気等 : 有 ・ 無	適 不 適	第2項第8号 例示基準53

4 - 2 . 定置式製造設備に係る技術基準(一般則第6条第2項関係、その他)

1.過充 防止措置 (毒性ガスに限る。)	目視 記録	90%警報装置：有・無 作動テストの記録：有・無	適 不適	第2項第2号 のイ
2.車止め	目視	車止めの有無：有・無	適 不適	第2項第2号のハ
3.断熱性能	試験 記録	断熱方法： 真空度：0.0266 kPa kPa 昇圧度：規定充填量の1/2以上で12時間当たりの昇圧が0.1MPa以下(1200L以下は0.2MPa)を超えないこと。	適 不適	参 考 九州酸素協会の 技術基準による

5. 氣密試驗結果

漏洩：有・無	処置：済・否（処置者：_____）
漏洩箇所：_____	

6. 指示、指導事項

[illegible]

